



平成23年度 青年江原会 講演会

熊本発のイノベーション

第2回 「ディスカバー士君子 Again」

日時： 2012年2月12日（日） 16:00開場 / 16:30開演

場所： 江原会館（熊本高校内） ※入場無料

■トピックス

- 熊中・熊高の校訓
- 野田寛初代校長
- ディスカバー士君子
- イートン校との交流
- 祭と士君子
- 日本・熊本と士君子
etc.

■パネルディスカッション パネラー

- 石原靖也先輩（第14代青年江原会会長・S47年卒）
（株）東光石油会長、新幹線元年委員会委員長、みずあかり実行委員長、熊本いいくに会代表幹事、県教育委員 etc...
- 林田淳一先輩（青年江原会4代目（現）総取締・S52年卒）
（株）RHK社長、前くまもと21の会会長、新幹線元年委員会副委員長
- 清村正弥先輩（第19代青年江原会会長・S52年卒）
清村歯科医院院長、熊本市歯科医師会会長

○司会 第31代（現）青年江原会長 片岡恵一郎（平元卒）

「ディスカバー士君子 Again 企画にあたり」

青年江原会会長 片岡恵一郎（平元卒）

イノベーションとは「革新」ですが、ともすれば奇抜なことをやればいいと勘違いしがちです。同窓会活動でいろんな活動や試みを行うにあたり、「スジ」をはずさない様にしたい。そういう意味で同窓会活動の原点をみつめた時に、母校に帰す事は重要です。

熊本高校で私達が受けた「教育」とは何だったのか、成長した大人の頭でもう一度考える機会を作りたいと思います。

熊本高校の校訓をもう一度読み直し、そこに込められた初代野田寛校長先生の想いを読み解き、士君子、立志篤行とは何なのか、それを時代を越えて考え続けること、それが熊本高校の同窓会の大きな意味であると考えます。

ちょうど20年程前、母校創立100周年に向けて、青年江原会で「ディスカバー士君子」という企画がありました。1992年より数年間かけて、野田先生の掲げられた「士君子」とは何なのかを考えるという企画です。この企画はその時代の青年江原会としては、まさに的確なイノベーションだったと思います。しかし、その企画の中で、「イートン校」「Nobless Oblige」というキーワードが発掘されたことは、若い世代では知らない方も多くなってきています。

江原会は幸いな事に、上から下まで一本の強い筋が途絶えることなく通っています。それを実感すべく、先輩方が10数年前に議論し得られたいくつかの解を、若者に伝えて頂きたい。そこを、平成卒の青年江原会のスタートとしたい。

そういう想いを込めて、当時からずっと青年江原会を見守っていただいております。かつ現在熊本のリーダー役ともいえるお三方をパネラーに招き、会場参加型シンポジウムを企画します。目的は、「士君子」に対する自分なりの解釈ができる熊本高校OBを増やすこと。そして、その想いを途絶えさせずに語り継ぐこと。きっと熊本のため、いや世の中の為になります。

熊本高校のOBが、世の中で活躍する為の礎はあくまで熊本高校の教育理念、その補助の役割を同窓会が担えれば素敵だと想います。

根本に立ち返る、それもイノベーションの一つの重要なステップだと思えます。



■企画 青年江原会事務局

■お問い合わせ

青年江原会事務局 水橋一太（平3卒）

E-Mail miz-win@suncolor.co.jp

TEL 090-7159-7830